

別表第1

A. 大学共通科目

授 業 科 目	年次及び単位数					備 考	
	1	2	3	4	計		
人 間 科 学	精神衛生学		2			2	1科目2単位を修得すること
	身体の科学Ⅰ	2				2	
	身体の科学Ⅱ	2				2	
	スポーツ医学	2				2	
	スポーツ生理学		2			2	
	スポーツ栄養学		2			2	
	運動の科学	2				2	
	体力育成論	2				2	
	体育実技Ⅰ	2				2	
	体育実技Ⅱ		2			2	
	生涯スポーツⅠ			2		2	
	生涯スポーツⅡ				2	2	
	スポーツ実技			1		1	
	健康運動実技			1		1	
	身体と心の科学演習Ⅰ			2		2	
身体と心の科学演習Ⅱ			2		2		
人 文 科 学 と 人 間	哲学Ⅰ	2				2	1科目2単位を修得すること
	哲学Ⅱ	2				2	
	心理学Ⅰ	2				2	
	心理学Ⅱ	2				2	
	倫理と人間	2				2	
	生命と倫理	2				2	
	音楽の世界	2				2	
	美術の世界	2				2	
	文学の世界	2				2	
自 然 ・ 科 学 技 術 ・ 人 間	科学と人間	2				2	文学部、経済学部経営情報学 科、経済法学科及び社会福祉学部 の学生は1科目2単位を修得するこ と 経済学部経済学科の学生は、統 計学Ⅰ、数学Ⅰ及び数学Ⅱの中か ら2科目4単位を修得すること
	物質の世界	2				2	
	生命の科学Ⅰ	2				2	
	生命の科学Ⅱ	2				2	
	環境と人間Ⅰ	2				2	
	環境と人間Ⅱ	2				2	
	統計学Ⅰ	2				2	
	統計学Ⅱ	2				2	
	数学Ⅰ	2				2	
数学Ⅱ	2				2		
社 会 と 人 間	日本国憲法	2				2	1科目2単位を修得すること
	法学	2				2	
	投資の仕組み	2				2	
	現代世界の歴史〔東洋〕	2				2	
	現代世界の歴史〔西洋〕	2				2	
	政治学Ⅰ	2				2	
	政治学Ⅱ	2				2	
	経済学Ⅰ	2				2	
	経済学Ⅱ	2				2	
	社会学Ⅰ	2				2	
	社会学Ⅱ	2				2	
	文化人類学	2				2	
	メディアと社会	2				2	

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考
		1	2	3	4	計	
地域と文化	北方圏論	2				2	1科目2単位を修得すること
	北海道文化論Ⅰ	2				2	
	北海道文化論Ⅱ	2				2	
	中国事情〔国際〕	4				4	
	日本の文化Ⅰ	2				2	
	日本の文化Ⅱ	2				2	
	古典籍の世界	2				2	
	中国の文化Ⅰ	2				2	
	中国の文化Ⅱ	2				2	
	韓国・朝鮮の文化	2				2	
	アメリカの文化Ⅰ	2				2	
	アメリカの文化Ⅱ	2				2	
	ヨーロッパの文化Ⅰ	2				2	
	ヨーロッパの文化Ⅱ	2				2	
	国際文化論Ⅰ	2				2	
国際文化論Ⅱ	2				2		
宗教と文化	キリスト教文化	聖書の思想と文化Ⅰ	2			2	1科目2単位を修得すること
		聖書の思想と文化Ⅱ	2			2	
		キリスト教の歴史と文化Ⅰ	2			2	
		キリスト教の歴史と文化Ⅱ	2			2	
		キリスト教の世界観・人間観		2		2	
	諸宗教文化	現代と宗教	2			2	1科目2単位を修得すること
		比較宗教学		2		2	
		東アジアの宗教思想と文化	2			2	
		インドの思想と文化	2			2	
		仏教の思想と文化	2			2	
イスラム教の思想と文化		2			2		
演習	宗教と文化演習Ⅰ			2	2		
	宗教と文化演習Ⅱ			2	2		
科目演習	教養演習Ⅰ	2			2		
	教養演習Ⅱ	2			2		
総合講義	講義	平和学Ⅰ	2			2	
		平和学Ⅱ	2			2	
		ジェンダーと社会	2			2	
		北星学	2			2	
キャリア教育 科目 情報科目	キャリア教育	職業と人生Ⅰ	2			2	文学部、経済学部及び社会福祉学部福祉心理学科の学生は必修とする
		職業と人生Ⅱ		2		2	
	日本語科目	日本語表現Ⅰ	2			2	必修とする
		日本語表現Ⅱ	2			2	必修とする
	情報科目	情報入門	2			2	必修とする
		情報活用Ⅰ	2			2	いずれか1科目2単位を修得すること
		情報活用Ⅱ	2			2	
		ハードウェア基礎		2		2	
ソフトウェア基礎		2		2			

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考		
		1	2	3	4	計			
外 国 語	英語	英語Ⅰ	2				2	文学部英文学科の学生は、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ又は韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること 文学部心理・応用コミュニケーション学科、経済学部経営情報学科、経済法学科及び社会福祉学部の学生は、英語Ⅰ～Ⅳ、ドイツ語Ⅰ～Ⅳ、フランス語Ⅰ～Ⅳ、中国語Ⅰ～Ⅳ又は韓国語Ⅰ～Ⅳのいずれか4科目8単位を修得すること 経済学部経済学科の学生は、英語Ⅰ・Ⅱの2科目4単位を修得し、加えてドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱのいずれか2科目4単位を修得し、さらに英語Ⅲ・Ⅳの2科目4単位か、上記で選択した英語以外の外国語科目のⅢ・Ⅳの2科目4単位を修得すること	
		英語Ⅱ	2				2		
		英語Ⅲ		2					2
		英語Ⅳ		2					2
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ	2				2		
		ドイツ語Ⅱ	2				2		
		ドイツ語Ⅲ		2			2		
		ドイツ語Ⅳ		2			2		
	フランス語	フランス語Ⅰ	2				2		
		フランス語Ⅱ	2				2		
		フランス語Ⅲ		2			2		
		フランス語Ⅳ		2			2		
	中国語	中国語Ⅰ	2				2		
		中国語Ⅱ	2				2		
		中国語Ⅲ		2			2		
		中国語Ⅳ		2			2		
	韓国語	韓国語Ⅰ	2				2		
		韓国語Ⅱ	2				2		
		韓国語Ⅲ		2			2		
		韓国語Ⅳ		2			2		
	英語	英語と文化		2			2		
		海外事情		2			2		
		上級英語Ⅰ			2		2		
		上級英語Ⅱ			2		2		
		外国語演習（英語）				4	4		
	ドイツ語	ドイツ語と文化		2			2		
		海外事情		2			2		
		上級ドイツ語Ⅰ			2		2		
上級ドイツ語Ⅱ				2		2			
外国語演習（ドイツ語）					4	4			
フランス語	フランス語と文化		2			2			
	海外事情		2			2			
	上級フランス語Ⅰ			2		2			
	上級フランス語Ⅱ			2		2			
	外国語演習（フランス語）				4	4			
中国語	中国語と文化		2			2			
	海外事情		2			2			
	上級中国語Ⅰ			2		2			
	上級中国語Ⅱ			2		2			
	外国語演習（中国語）				4	4			
韓国語	韓国語と文化		2			2			
	海外事情		2			2			
	上級韓国語Ⅰ			2		2			
	上級韓国語Ⅱ			2		2			
	外国語演習（韓国語）				4	4			

B. 文学部 英文学科専門教育科目

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考		
		1	2	3	4	計			
共通 英語 科目	ベーシック・スピーキングⅠ	2				2	必修とする		
	ベーシック・スピーキングⅡ	2				2	必修とする		
	アカデミック・コミュニケーションⅠ		2			2	必修とする		
	アカデミック・コミュニケーションⅡ		2			2	必修とする		
	イングリッシュ・ディスカッションⅠ			2		2	必修とする		
	イングリッシュ・ディスカッションⅡ			2		2	必修とする		
	ベーシック・リーディングⅠ	2				2	必修とする		
	ベーシック・リーディングⅡ	2				2	必修とする		
	アカデミック・リーディングⅠ		2			2	必修とする		
	アカデミック・リーディングⅡ		2			2	必修とする		
	ベーシック・コンポジションⅠ	2				2	必修とする		
	ベーシック・コンポジションⅡ	2				2	必修とする		
	アカデミック・エッセイⅠ		2			2	必修とする		
	アカデミック・エッセイⅡ		2			2	必修とする		
英文法クリニック	2				2	必修とする			
共通 専門 科目	基礎演習Ⅰ	2				2	必修とする		
	基礎演習Ⅱ		2			2	必修とする		
	概 論 科 目	イギリス文化概論	2				2	5科目10単位を修得すること	
		イギリス文学概論	2				2		
		アメリカ文化概論	2				2		
		アメリカ文学概論	2				2		
		演劇概論	2				2		
		英語学概論	2				2		
		応用言語学概論	2				2		
		英語教育概論	2				2		
		社会言語学概論	2				2		
		異文化コミュニケーション概論Ⅰ	2				2		
	異文化コミュニケーション概論Ⅱ	2				2			
	科 目	海外短期英語研修		4			4		
海外短期研修				2		2			
欧米文化特講A				2		2			
欧米文化特講B				2		2			
日本文化特講A				2		2			
日本文化特講B				2		2			
キリスト教と文学				2		2			
英米史B				2		2			
コ ー ス 専 門 科 目	言 語 文 化 コ ー ス	イギリス文学史A			2	2	言語文化コースを選択する者は、 いずれか2科目4単位を修得すること		
		イギリス文学史B			2	2			
		アメリカ文学史A			2	2			
		アメリカ文学史B			2	2			
	ス 専 門 科 目	イギリス小説研究A			2		2	言語文化コースを選択する者 は、必修を含め30単位を修得する	
		イギリス小説研究B			2		2		
		アメリカ小説研究A			2		2		
		アメリカ小説研究B			2		2		
		英米詩研究A			2		2		
		英米詩研究B			2		2		
		演劇研究A			2		2		
		演劇研究B			2		2		
		イギリス文化研究A			2		2		
		イギリス文化研究B			2		2		
		アメリカ文化研究A			2		2		
		アメリカ文化研究B			2		2		
		専門演習Ⅰ			2		2		必修とする
		専門演習Ⅱ			2		2		必修とする
専門演習Ⅲ				2	2	必修とする			
専門演習Ⅳ				2	2	必修とする			
卒業研究Ⅰ				2	2	必修とする			
卒業研究Ⅱ				4	4	必修とする			

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考		
		1	2	3	4	計			
コ ー ス 専 門 科 目	言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス	言語学			2		2	言語コミュニケーションコース を選択する者は、必修を含め30単 位を修得すること	
		英語史			2		2		
		英語学研究A			2		2		
		英語学研究B			2		2		
		英語学研究C			2		2		
		英語学研究D			2		2		
		コミュニケーション研究A			2		2		
		コミュニケーション研究B			2		2		
		コミュニケーション研究C			2		2		
		コミュニケーション研究D			2		2		
		異文化コミュニケーション研究A			2		2		
		異文化コミュニケーション研究B			2		2		
		英語メディア研究A			2		2		
		英語メディア研究B			2		2		
		英語メディア研究C			2		2		
		英語メディア研究D			2		2		
		英語メディア研究E			2		2		
		英語メディア研究F			2		2		
		専門演習Ⅰ			2		2		必修とする
		専門演習Ⅱ			2		2		必修とする
専門演習Ⅲ				2	2	必修とする			
専門演習Ⅳ				2	2	必修とする			
卒業研究Ⅰ				2	2	必修とする			
卒業研究Ⅱ				4	4	必修とする			
英 語 実 技 科 目		イングリッシュ・ટે・イベントⅠ			2		2		
		イングリッシュ・ટે・イベントⅡ			2		2		
		クリエイティブ・ライティングⅠ			2		2		
		クリエイティブ・ライティングⅡ			2		2		
		パブリック・スピーキング		2			2		
		プレゼンテーション・スキルズ		2			2		
		通訳法Ⅰ		2			2		
		通訳法Ⅱ		2			2		
		通訳法Ⅲ			2		2		
		通訳法Ⅳ			2		2		
		翻訳法AⅠ		2			2		
		翻訳法BⅠ		2			2		
		翻訳法AⅡ		2			2		
		翻訳法BⅡ		2			2		
		翻訳法Ⅲ			2		2		
		翻訳法Ⅳ			2		2		
		オーラル・インターブ・リテーションⅠ		2			2		
		オーラル・インターブ・リテーションⅡ		2			2		
		英語ワークショップA			2		2		
		英語ワークショップB			2		2		
英語ワークショップC			2		2				
英語ワークショップD			2		2				
英語ワークショップE			2		2				
英語ワークショップF			2		2				
言 語 教 育 科 目		英語教育学講座	2				2		
		英語教育学演習A〔児童英語教育〕			2		2		
		英語教育学演習B〔授業実践論〕			2		2		
		日本語教授法Ⅰ		2			2		
		日本語教授法Ⅱ		2			2		
		日本語教授法Ⅲ			2		2		
		シヤハ・ニュース・リテラチャー			3		3		
シヤハ・ニュース・カルチャー			3		3				
<p>文学部英文学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない132単位のうち、大学 共通科目38単位及び専門教育科目80単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、 その余の14単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、文学部他学科専門教育科 目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目 （別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目 及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とす る。</p>									

C. 文学部 心理・応用コミュニケーション学科専門教育科目

授 業 科 目	年次及び単位数					備 考	
	1	2	3	4	計		
心理 コミュニ ケーシ ョン科 目群	コミュニケーション心理学	2				2	必修とする 「心理統計法」「心理学実験演習」「心理学研究法」の3科目8単位か「応用統計法」「観察訓練演習」「インタビュー技法」の3科目8単位のいずれかを修得すること
	心理統計法	2				2	
	音楽心理学		2			2	
	感情心理学		2			2	
	心理学実験演習		4			4	
	心理学研究法		2			2	
	パーソナリティ心理学		2			2	
	認知心理学		2			2	
	産業心理学		2			2	
	学習心理学		2			2	
	スポーツ心理学		2			2	
	心理言語学		2			2	
	教育心理学		2			2	
	学校心理学		2			2	
応用 コミュニ ケーシ ョン科 目群	応用コミュニケーション論	2				2	必修とする
	応用統計法	2				2	
	演劇概論	2				2	
	観察訓練演習		4			4	
	インタビュー技法		2			2	
	クリティカルシンキング		2			2	
	マルチメディア論		2			2	
	空間コミュニケーション		2			2	
	消費者コミュニケーション		2			2	
	グループ・コミュニケーション		2			2	
	国際交流論		2			2	
	映像技術演習		2			2	
	時事社会研究			2		2	
	野外活動演習			2		2	
	ルポルタージュ論			2		2	
	映像表現論			2		2	
英語メディア研究A			2		2		
英語メディア研究B			2		2		
教育コミュニケーション論		2			2		
マスコミュニケーション論		2			2		
共 通 科 目 群	総合講義			2		2	必修とする 必修とする 必修とする 必修とする
	英会話Ⅰ	2				2	
	英会話Ⅱ	2				2	
	基礎演習	2				2	
	社会活動実習	2				2	
	異文化コミュニケーション概論Ⅰ	2				2	
	異文化コミュニケーション概論Ⅱ	2				2	
	英語特別授業	2				2	
	アカデミックライティングⅠ		2			2	
	アカデミックライティングⅡ		2			2	
	フィールド実習Ⅰ		2			2	
	フィールド実習Ⅱ		2			2	
	情報技術演習		2			2	
	文章コミュニケーション		2			2	
	プレゼンテーション演習			2		2	
	海外短期研修		2			2	
	海外短期英語研修		4			4	
	インターンシップ・プロジェクト実習			2		2	
	英語ワークショップC			2		2	
	英語ワークショップD			2		2	
欧米文化特講A			2		2		
欧米文化特講B			2		2		

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考
		1	2	3	4	計	
共通科目群	日本文化特講A			2		2	必修とする 必修とする 必修とする 必修とする 必修とする 必修とする
	日本文化特講B			2		2	
	英米史A			2		2	
	英米史B			2		2	
	専門演習Ⅰ			2		2	
	専門演習Ⅱ			2		2	
	専門演習Ⅲ				2	2	
	専門演習Ⅳ				2	2	
	卒業研究Ⅰ				3	3	
卒業研究Ⅱ				3	3		
関連自由科目群	経済学入門	2				2	
	宗教学		2			2	
	現代政治学		2			2	
	憲法Ⅰ〔人権〕		4			4	
	国際経済学		4			4	
	日本史		4			4	
	社会思想史		4			4	
	地誌概説		4			4	
	地理学		4			4	
	自然地理学		4			4	
	世界史Ⅰ		4			4	
	世界史Ⅱ		4			4	
	国際政治学		4			4	

文学部心理・応用コミュニケーション学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない132単位のうち、大学共通科目38単位及び専門教育科目62単位は、備考欄に定めるところに従い修得し、技能審査の合格に係る学修に対する認定単位8単位を修得し、その余の24単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、文学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。

なお、単位を認定することができる学修は、『技能審査の認定に関する規則』（昭和42年文部省告示第237号）による文部科学大臣の認定を受けた技能試験のうち「実用英語技能検定試験」、「TOEFL」、「TOEIC」、「ドイツ語技能検定試験」、「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験」、「実用フランス語技能検定」、「中国語検定試験」、「実用中国語技能検定試験」、「HSK（漢語水平考査）」、「ハンゲル能力検定」、「韓国語能力試験」、「日本語文章能力検定試験」、「日本語検定」、「国語力検定」、「語彙・読解力検定」、「日本漢字能力検定試験」等とし、単位数については別に定めることとする。

D. 経済学部 経済学科専門教育科目

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考
		1	2	3	4	計	
科 入 門	入門演習	2				2	必修とする 必修とする 必修とする
	基礎経済学	4				4	
	新聞活用	2				2	
基 礎 科 目	経済数学	4				4	4科目16単位を修得すること
	経済統計学	4				4	
	ミクロ経済学	4				4	
	マクロ経済学		4			4	
	社会経済史		4			4	
	社会経済学		4			4	
群 科 目	近代 経済学 分野	計量経済学		4		4	3科目12単位を修得すること
		経済政策論		4		4	
		環境経済学		4		4	
		金融論		4		4	
		財政学		4		4	
		農業経済学		4		4	
	歴史・ 社会 分野	経済思想史		4		4	
		西洋経済史		4		4	
		日本経済史		4		4	
		社会政策論		4		4	
	国 際 分 野	労働経済論		4		4	
		国際経済学		4		4	
		ヨーロッパ経済論		4		4	
		アジア経済論		4		4	
		アメリカ経済論		4		4	
演 習 科 目	国際関係論		4		4		
	国際開発協力論		4		4		
	基礎演習		2		2	必修とする 必修とする 必修とする	
演習Ⅰ			4	4			
演習Ⅱ				4	4		
選 択 科 目	一 般	日本経済論ディベートⅠ		2		2	
		日本経済論ディベートⅡ		2		2	
		フェアトレード		4		4	
		海外実習Ⅰ		2		2	
		海外実習Ⅱ		2		2	
		グローバル・ガバナンス論		4		4	
		ビジネス英語Ⅰ		2		2	
		ビジネス英語Ⅱ		2		2	
		証券論		4		4	
		会計入門		2		2	
		簿記原理Ⅰ		2		2	
		規制と競争の経済学		2		2	
		ゲーム理論			4	4	
		市民経済論			4	4	
		北海道経済論			4	4	
		環境政策論			4	4	
		社会思想史			4	4	
		中小企業論			2	2	
		開発経済論			4	4	
		時事英語			2	2	
		中国経済論			2	2	
		経済学特論			2	2	
		国際経済特論			2	2	
貿易実務			2	2			
地域経済論			4	4			
地方自治論			2	2			

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考		
		1	2	3	4	計			
選 択 科 目	一	金融システム論			2		2		
		国際金融論			2		2		
		文化経済学			2		2		
	般	卒業論文				4	4		
	教 職 関 係		日本史		4				4
			世界史Ⅰ		4				4
			地理学		4				4
			地誌概説		4				4
			国際政治学		4				4
			現代政治学		2				2
			流通サービス経営論Ⅰ		2				2
			流通サービス経営論Ⅱ		2				2
			職業指導		4				4
			憲法Ⅰ〔人権〕		4				4
			民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		4				4
			自然地理学			4			4
			世界史Ⅱ			4			4
			会計学Ⅰ			2			2
			会計学Ⅱ			2			2
			宗教学		2				2
<p>経済学部経済学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目38単位及び専門教育科目64単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の22単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。</p>									

E. 経済学部 経営情報学科専門教育科目

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
学科基礎科目	経営情報学Ⅰ	2				2		
	マネジメント入門Ⅰ	2				2		
	会計入門	2				2		
	マーケティングⅠ	2				2		
	基礎経済学	2				2		
	証券と金融		2			2		
	企業法入門		2			2		
導学科専門	経営情報学Ⅱ	2				2		
	経営科学		2			2		
	マネジメント入門Ⅱ	2				2		
	企業形態論	2				2		
	簿記原理Ⅰ	2				2		
	マーケティングⅡ	2				2		
	インターネット論		2			2		
能力科目実践	情報処理	2				2	必修とする	
	問題解決スキル	2				2		
	ビジネスケース		2			2		
	海外実習		2			2		
	ビジネス英語			2		2		
演習科目	基礎演習Ⅰ	2				2	必修とする	
	基礎演習Ⅱ		2			2		
	専門演習Ⅰ			4		4	必修とする	
	専門演習Ⅱ				4	4		
論文科目	卒業論文				4	4		
学 科 ユ ニ ツ	情報システム	情報科学		2			2	
		情報メディア論Ⅰ		2			2	
		情報メディア論Ⅱ		2			2	
		プログラミングⅠ		2			2	
		プログラミングⅡ		2			2	
		データベース論			2		2	
		通信ネットワーク論			2		2	
		情報システム管理論			2		2	
	情報分析	意思決定論		2			2	
		シミュレーション論			2		2	
		ソフトウェア開発論Ⅰ			2		2	
		ソフトウェア開発論Ⅱ			2		2	
		情報システム論Ⅰ			2		2	
		情報システム論Ⅱ			2		2	
		システム設計論				2	2	
	アプリケーション論				2	2		
	マネジメント	人材・組織マネジメントⅠ		2			2	
		人材・組織マネジメントⅡ		2			2	
		戦略マネジメントⅠ		2			2	
戦略マネジメントⅡ			2			2		
現代企業論			2			2		
産業心理学			2			2		
経営史				2		2		
ベンチャー・マネジメント				2		2		
国際マネジメント			2		2			

授 業 科 目			年次及び単位数					備 考
			1	2	3	4	計	
学 科 ユ ニ ツ ト	ア カ ウ ン テ ィ ン グ	簿記原理Ⅱ		2			2	
		簿記原理Ⅲ		2			2	
		会計学Ⅰ		2			2	
		会計学Ⅱ		2			2	
		原価計算Ⅰ		2			2	
		原価計算Ⅱ		2			2	
		管理会計Ⅰ			2		2	
		管理会計Ⅱ			2		2	
		国際会計Ⅰ			2		2	
	国際会計Ⅱ			2		2		
	マ ー ケ テ ィ ン グ	流通サービス経営論Ⅰ		2			2	
		流通サービス経営論Ⅱ		2			2	
		消費者行動論		2			2	
		広告コミュニケーション論		2			2	
		国際マーケティング			2		2	
		ブランドマネジメント論		2			2	
	マーケティング・リサーチ			2		2		
	金 融 ・ 証 券	証券論	4				4	
		企業金融論		2			2	
国際金融論				2		2		
年金制度論			2			2		
証券市場論			2			2		
金融論			4			4		
学 科 関 連 ユ ニ ツ ト	経 済	マクロ経済学		4			4	
		ミクロ経済学		4			4	
		規制と競争の経済学		2			2	
		北海道経済論		2			2	
		国際経済学		4			4	
		中小企業論			2		2	
	法 務	行政法Ⅰ〔行政法総論〕		4			4	
		行政法Ⅱ〔行政救済法〕			4		4	
		地方自治法			2		2	
		租税法			2		2	
		メディア法			2		2	
商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕		4				4		
商法Ⅱ〔会社法〕				4		4		
金融取引法				2		2		
知的所有権法			2		2			
自 由 科 目	フェアトレード		4			4		
	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		4			4		
	地誌概説		4			4		
	地理学		4			4		
	自然地理学		4			4		
	日本史		4			4		
	世界史Ⅰ		4			4		
	世界史Ⅱ		4			4		
	宗教学		2			2		
	国際政治学		4			4		
	現代政治学		2			2		
	職業指導		4			4		

経済学部経営情報学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目38単位及び専門教育科目70単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の16単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とする。

F. 経済学部 経済法学科専門教育科目

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
学科基礎科目	基礎経済学	2				2		
	法情報学	2				2		
	法学入門	2				2		
	企業法入門		2			2		
	会計入門	2				2		
	マネジメント入門Ⅰ	2				2		
	法哲学		2			2		
	法と経済	2				2		
基礎力養成科目	基礎力養成塾Ⅰ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅱ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅲ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅳ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅴ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅵ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅶ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅷ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅸ	2				2		
	基礎力養成塾Ⅹ	2				2		
科目演習	演習Ⅰ		4			4		
	演習Ⅱ			4		4		
	演習Ⅲ				4	4		
学科ユニット科目	理論経済	モダン・エコノミクス	2				2	
		マクロ経済学		4			4	
		ミクロ経済学		4			4	
		経済統計学	4				4	
		経済数学	4				4	
		計量経済学		4			4	
	金融・財政	証券論	4				4	
		企業金融論		2			2	
		国際金融論		2			2	
		金融システム論		2			2	
		金融論		4			4	
		金融・財政分析実習		2			2	
		財政学		4			4	
	経済・経営	マネジメント入門Ⅱ	2				2	
		経済政策論		4			4	
		規制と競争の経済学		2			2	
		北海道経済論		2			2	
		国際経済学			4		4	
		中小企業論			2		2	
	公法基礎	経済・経営分析実習		2			2	
		憲法Ⅰ〔人権〕	4				4	
		憲法Ⅱ〔統治機構〕		4			4	
		刑事法Ⅰ〔刑法総論〕			2		2	
		刑事法Ⅱ〔刑法各論・刑事訴訟法〕			2		2	
		メディア法			2		2	
		国際人権法			2		2	
		政策法務	行政法Ⅰ〔行政法総論〕		4			4
行政法Ⅱ〔行政救済法〕					4		4	
地方自治法					2		2	
租税法				2		2		
社会保障法					2	2		

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
学 科 ユ ニ ツ ト 科 目	民 事 法 基 礎	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	4				4	
		民法Ⅱ〔債権各論〕		4			4	
		民法再入門		2			2	
		民法Ⅲ〔不法行為〕			2		2	
		民法Ⅳ〔債権総論〕		2			2	
		民法Ⅴ〔担保物権〕			2		2	
		民法Ⅵ〔親族〕			2		2	
	民法Ⅶ〔相続〕				2	2		
	企 業 法 務	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕		4			4	
		商法Ⅱ〔会社法〕			4		4	
		金融取引法			2		2	
		経済法			4		4	
		労働法Ⅰ			2		2	
		労働法Ⅱ			2		2	
	司 法 実 務	手続法基礎論		2			2	
		民事訴訟法			4		4	
		民事執行法			2		2	
		倒産処理法			2		2	
	ア カ ウ ン テ ィ ン グ	簿記原理Ⅰ	2				2	
		簿記原理Ⅱ		2			2	
		簿記原理Ⅲ		2			2	
		会計学Ⅰ		2			2	
		会計学Ⅱ		2			2	
		原価計算Ⅰ		2			2	
		原価計算Ⅱ		2			2	
		管理会計Ⅰ			2		2	
		管理会計Ⅱ			2		2	
		国際会計Ⅰ			2		2	
	国際会計Ⅱ			2		2		
	ユ ニ ツ ト 発 展 科 目	応用経済学特別講義		2			2	
		先端法律学特別講義		2			2	
		経法総合講義		2			2	
		卒業論文				4	4	
教 職 科 目	国際政治学			4		4		
	現代政治学		2			2		
	地誌概説		4			4		
	地理学		4			4		
	自然地理学		4			4		
	日本史		4			4		
	世界史Ⅰ		4			4		
	世界史Ⅱ		4			4		
	宗教学		2			2		

経済学部経済法学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目38単位及び専門教育科目72単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の14単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、経済学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とする。

G. 社会福祉学部 福祉計画学科専門教育科目

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
福 祉 計 画 基 盤 科 目	福祉計画概説	2				2	必修とする 福祉計画専門基盤科目及び社会福祉士関係科目から必修24単位を含め68単位を修得すること	
	ジェンダー論	2				2		
	比較家族論	2				2		
	福祉社会学	2				2		
	社会調査入門	2				2		
	社会調査法		2			2		
	福祉財政論		2			2		
	ケアマネジメント論		2			2		
	社会福祉調査方法論		2			2		
	コミュニティ論		2			2		
	非営利組織論		2			2		
	福祉計画特論		2			2		
	福祉国家論		2			2		
	福祉計画論Ⅰ		2			2		必修とする 必修とする
	福祉計画論Ⅱ		2			2		
	地方自治論		2			2		
	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕		4			4		
	行政法Ⅰ〔行政法総論〕		4			4		
	医療経済学		2			2		
	社会教育計画		2			2		
	社会教育方法論		2			2		
	データ解析入門		2			2		
	社会保障法			2		2		
	労働法			2		2		
	租税法			2		2		
	専門演習Ⅰ			2		2	必修とする 必修とする	
	専門演習Ⅱ			2		2		
社会福祉調査実習			6		6			
専門演習Ⅲ				2	2	必修とする 必修とする		
専門演習Ⅳ				2	2			
卒業論文				6	6			
コミュニティワーク実習			6		6			
海外の福祉制度	2				2			
海外福祉計画実習		2			2			
国際比較福祉論			2		2			
福祉計画インターンシップ			2		2			
社会福祉士関係科目	社会福祉士基盤科目	心理学理論と心理的支援	2			2		
		社会理論と社会システム	2			2		
		医学知識Ⅰ		2		2		
		医学知識Ⅱ		2		2		
		ソーシャルワーク論Ⅰ	2			2		
		ソーシャルワーク論Ⅱ		2		2		
		ソーシャルワーク方法論Ⅰ		2		2		
		ソーシャルワーク方法論Ⅱ		2		2		
		高齢者福祉論		2		2		
		障害者福祉論		2		2		
		児童・家庭福祉論		2		2		
		相談援助入門実習		1		1		
		相談援助演習Ⅰ		3		3		
		相談援助演習Ⅱ			2	2		
		相談援助実践論		2		2		
		相談援助実習指導Ⅰ		2		2		
		相談援助実習指導Ⅱ			2	2		
		相談援助実習指導Ⅲ			2	2		
		相談援助実習			6	6		
社会福祉発達史	2				2			

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
社会福祉士関係科目	社会福祉士・計画系科目	社会福祉概説	4				4	必修とする
		社会福祉調査論		2			2	
		福祉行財政と福祉計画		2			2	
		社会保障論Ⅰ	2				2	
		社会保障論Ⅱ		2			2	
		公的扶助論		2			2	
		労災と就労支援			2		2	
		権利擁護と成年後見制度		2			2	
		地域福祉論		2			2	
		コミュニティワーク論		2			2	
	司法福祉論		2			2		
	公衆衛生	2				2		
	社会福祉士・臨床系科目	社会福祉管理運営論			2		2	
		ソーシャルワーク実践理論Ⅰ			2		2	
ソーシャルワーク実践理論Ⅱ				2		2		
医療福祉論			2			2		
				2		2		
教職・社会教育主事関係科目	教 職 科 目	地理学		4			4	
		地誌概説		4			4	
		自然地理学		4			4	
		経済学入門	2				2	
		国際経済学		4			4	
		国際政治学		4			4	
		現代政治学		2			2	
		憲法Ⅰ〔人権〕		4			4	
		社会思想史		4			4	
		日本史		4			4	
		世界史Ⅰ		4			4	
		世界史Ⅱ		4			4	
		宗教学		2			2	
	社会教育主事科目	生涯学習概論		4			4	
		青少年問題と社会教育			2		2	
		家庭教育と社会教育		2			2	
		高齢化と社会教育			2		2	
		社会教育演習				4	4	
		職業指導			4		4	
		幼児保育論			2		2	

社会福祉学部福祉計画学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目36単位及び専門教育科目68単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の20単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、社会福祉学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とする。

社会福祉士及び介護福祉士法第7条第1号に規定により社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、社会福祉学部福祉計画学科において、「医学知識Ⅰ及び医学知識Ⅱ（4単位）、心理学理論と心理的支援（2単位）又は社会理論と社会システム（2単位）」の3科目のうち1科目、社会福祉概説（4単位）、社会福祉調査論（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅱ（2単位）、ソーシャルワーク方法論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク方法論Ⅱ（2単位）、ソーシャルワーク実践理論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク実践理論Ⅱ（2単位）、地域福祉論（2単位）、コミュニティワーク論（2単位）、福祉行財政と福祉計画（2単位）、社会福祉管理運営論（2単位）、社会保障論Ⅰ（2単位）、社会保障論Ⅱ（2単位）、高齢者福祉論（2単位）、介護概論（2単位）、障害者福祉論（2単位）、児童・家庭福祉論（2単位）、公的扶助論（2単位）、医療福祉論（2単位）、「労災と就労支援（2単位）、権利擁護と成年後見制度（2単位）又は司法福祉論（2単位）」の3科目のうち1科目、相談援助演習Ⅰ（3単位）、相談援助演習Ⅱ（2単位）、相談援助実習指導Ⅰ（2単位）、相談援助実習指導Ⅱ（2単位）、相談援助実習指導Ⅲ（2単位）、相談援助実習（6単位）の合計28科目63単位以上を修得すること。

なお、上記に定める科目の出席回数が授業回数 $\frac{2}{3}$ （相談援助実習については $\frac{5}{4}$ ）に満たない者は、当該科目の単位を認定しない。

社会教育主事の資格を取得しようとする者は、生涯学習概論、社会教育計画、社会教育方法論及び社会教育演習の4科目12単位を必修とし、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育及び高齢化と社会教育の3科目から2単位以上、職業指導、社会福祉調査論、コミュニティワーク論、地域ソーシャルワーク論、非営利組織論、地方自治論及び身体と心の科学演習Ⅰの7科目から2単位以上、社会福祉概説、教育学、発達心理学、認知発達論、地域福祉論、教育社会学、生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、比較家族論、子ども発達論、教育心理学及びジェンダーと社会の12科目から2単位以上並びに修得していない科目から12単位以上を修得し、必修12単位と合わせて合計24単位以上（スポーツ実技及び健康運動実技を含めることができる）を修得すること。

H. 社会福祉学部 福祉臨床学科専門教育科目

授 業 科 目	年次及び単位数					備 考	
	1	2	3	4	計		
福祉臨床基盤科目	福祉臨床入門	2				2	必修とする
	福祉臨床基礎実習	2				2	必修とする
	子ども発達論	2				2	必修とする
	成人期発達論		2			2	必修とする
	高齢期発達論		2			2	必修とする
	障害学	2				2	
	ジェンダー・スタディーズ		2			2	福祉臨床基盤科目から必修16単位を修得すること
	差別論		2			2	
	社会福祉発達史	2				2	
	福祉臨床研究法 A I			2		2	必修とする
	福祉臨床研究法 B I			2		2	必修とする
	相談援助実践論		2			2	
	相談援助入門実習		1			1	
	福祉臨床基礎演習		2			2	必修とする
福祉臨床展開科目	成人期福祉論		2			2	福祉臨床展開科目から必修10単位を含め16単位を修得すること
	障害行動論 I		2			2	
	障害行動論 II		2			2	
	施設ソーシャルワーク論			2		2	3科目6単位を修得すること
	地域ソーシャルワーク論			2		2	
	子ども家庭ソーシャルワーク論			2		2	
	障害者ソーシャルワーク論			2		2	
	高齢者ソーシャルワーク論			2		2	
	保健医療ソーシャルワーク論			2		2	
	リハビリテーション論 I			2		2	また、上記で履修していない福祉臨床基盤科目、福祉臨床展開科目又は社会福祉士専門科目、精神保健福祉士専門科目、SSW専門科目、教育臨床専門科目（福祉臨床自由科目）から42単位修得すること。
	リハビリテーション論 II			2		2	
	ケアマネジメント実践論			2		2	
	ケアマネジメント技術演習			1		1	
	福祉臨床研究法 A II			2		2	
	福祉臨床研究法 B II			2		2	
	公衆衛生	2				2	
	療法論 I		2			2	
	療法論 II			2		2	
	福祉臨床専門演習			4		4	
	福祉臨床応用実習				6	6	
卒業論文				6	6	必修とする	
社会福祉士専門科目	心理学理論と心理的支援	2				2	
	社会理論と社会システム	2				2	
	医学知識 I		2			2	
	医学知識 II		2			2	
	社会福祉概説	4				4	
	ソーシャルワーク論 I	2				2	
	ソーシャルワーク論 II		2			2	
	ソーシャルワーク方法論 I		2			2	
	ソーシャルワーク方法論 II		2			2	
	ソーシャルワーク実践理論 I			2		2	
	ソーシャルワーク実践理論 II			2		2	
	高齢者福祉論		2			2	
	介護概論			2		2	
	障害者福祉論		2			2	
	児童・家庭福祉論		2			2	
	地域福祉論		2			2	
	コミュニティワーク論		2			2	
	医療福祉論		2			2	
	社会福祉管理運営論			2		2	
	司法福祉論		2			2	
社会福祉調査論		2			2		

授 業 科 目		年次及び単位数					備 考	
		1	2	3	4	計		
福祉臨 床学 科専 門科 目	社会福祉士専門科目	福祉行財政と福祉計画		2			2	
		社会保障論Ⅰ	2				2	
		社会保障論Ⅱ		2			2	
		公的扶助論		2			2	
		労災と就労支援			2		2	
		権利擁護と成年後見制度		2			2	
		相談援助演習Ⅰ		3			3	
		相談援助演習Ⅱ			2		2	
		相談援助実習指導Ⅰ		2			2	
		相談援助実習指導Ⅱ			2		2	
		相談援助実習指導Ⅲ			2		2	
		相談援助実習			6		6	
		福祉臨 床学 科専 門科 目	精神保健福祉士専門科目	精神疾患とその治療Ⅰ		2		
精神疾患とその治療Ⅱ					2		2	
精神保健の課題と支援Ⅰ					2		2	
精神保健の課題と支援Ⅱ					2		2	
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）				2			2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ					2		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ					2		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ					2		2	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ						2	2	
精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ				2			2	
精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ					2		2	
精神障害者の生活支援システム						2	2	
精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ					1		1	
精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ						1	1	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ					2		2	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ				4	4			
精神保健福祉援助実習				7	7			
福祉臨 床学 科専 門科 目	SSW専門科目	スクールソーシャルワーク論		2		2		
		スクールソーシャルワーク演習			1	1		
		スクールソーシャルワーク実習指導			1	1		
		スクールソーシャルワーク実習			2	2		
福祉臨 床学 科専 門科 目	教育臨床専門科目（福祉臨床自由科目）	障害児教育論			2	2		
		知的障害者の病理保健			2	2		
		知的障害者の心理		2			2	
		肢体不自由者の病理保健			2		2	
		肢体不自由者の心理		2			2	
		病弱者の病理保健			2		2	
		病弱者の心理		2			2	
		知的障害教育方法論Ⅰ		2			2	
		知的障害教育方法論Ⅱ		2			2	
		肢体不自由教育方法論		2			2	
		病弱教育方法論		2			2	
		視覚障害教育論			2		2	
		聴覚障害教育論			2		2	
		重複障害・LD等教育論		2			2	
		障害児教育実習			3		3	
		日本史		4			4	
		世界史Ⅰ		4			4	
		世界史Ⅱ		4			4	
		地理学		4			4	
		地誌概説		4			4	
		自然地理学		4			4	
		経済学入門	2				2	
		国際経済学		4			4	
国際政治学		4			4			
現代政治学			2		2			
憲法Ⅰ〔人権〕		4			4			
宗教学		2			2			
社会思想史		4			4			

社会福祉学部福祉臨床学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目36単位及び専門教育科目74単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の14単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、社会福祉学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とする。

社会福祉士及び介護福祉士法第7条第1号に規定により社会福祉士の受験資格を取得しようとする者は、社会福祉学部福祉臨床学科において、「医学知識Ⅰ及び医学知識Ⅱ（4単位）、心理学理論と心理的支援（2単位）又は社会理論と社会システム（2単位）」の3科目のうち1科目、社会福祉概説（4単位）、社会福祉調査論（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅱ（2単位）、ソーシャルワーク方法論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク方法論Ⅱ（2単位）、ソーシャルワーク実践理論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク実践理論Ⅱ（2単位）、地域福祉論（2単位）、コミュニティワーク論（2単位）、福祉行財政と福祉計画（2単位）、社会福祉管理運営論（2単位）、社会保障論Ⅰ（2単位）、社会保障論Ⅱ（2単位）、高齢者福祉論（2単位）、介護概論（2単位）、障害者福祉論（2単位）、児童・家庭福祉論（2単位）、公的扶助論（2単位）、医療福祉論（2単位）、「労災と就労支援（2単位）、権利擁護と成年後見制度（2単位）又は司法福祉論（2単位）」の3科目のうち1科目、相談援助演習Ⅰ（3単位）、相談援助演習Ⅱ（2単位）、相談援助実習指導Ⅰ（2単位）、相談援助実習指導Ⅱ（2単位）、相談援助実習指導Ⅲ（2単位）、相談援助実習（6単位）の合計28科目63単位以上を修得すること。

なお、上記に定める科目の出席回数が授業回数 $\frac{3}{2}$ （相談援助実習については $\frac{5}{4}$ ）に満たない者は、当該科目の単位を認定しない。

精神保健福祉士法第7条第1号に規定により精神保健福祉士の受験資格を取得しようとする者は、社会福祉学部福祉臨床学科において、「医学知識Ⅰ及び医学知識Ⅱ（4単位）、心理学理論と心理的支援（2単位）又は社会理論と社会システム（2単位）」の3科目のうち1科目、社会福祉概説（4単位）、地域福祉論（2単位）、コミュニティワーク論（2単位）、社会保障論Ⅰ（2単位）、社会保障論Ⅱ（2単位）、公的扶助論（2単位）、福祉行財政と福祉計画（2単位）、医療福祉論（2単位）、権利擁護と成年後見制度（2単位）、障害者福祉論（2単位）、精神疾患とその治療Ⅰ（2単位）、精神疾患とその治療Ⅱ（2単位）、精神保健の課題と支援Ⅰ（2単位）、精神保健の課題と支援Ⅱ（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅰ（2単位）、ソーシャルワーク論Ⅱ（2単位）、精神保健福祉相談援助の基盤（専門）（2単位）、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ（2単位）、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ（2単位）、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ（2単位）、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ（2単位）、精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ（2単位）、精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ（2単位）、精神障害者の生活支援システム（2単位）、相談援助演習Ⅰ（3単位）、相談援助演習Ⅱ（2単位）、精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ（1単位）、精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ（1単位）、精神保健福祉援助実習指導Ⅰ（2単位）、精神保健福祉援助実習指導Ⅱ（4単位）、精神保健福祉援助実習（7単位）の合計32科目72単位以上を修得すること。

なお、上記に定める科目の出席回数が授業回数 $\frac{3}{2}$ （精神保健福祉援助実習については実習施設毎に $\frac{5}{4}$ ）に満たない者は、当該科目の単位を認定しない。

社会教育主事の資格を取得しようとする者は、生涯学習概論、社会教育計画、社会教育方法論及び社会教育演習の4科目12単位を必修とし、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育及び高齢化と社会教育の3科目から2単位以上、職業指導、社会福祉調査論、コミュニティワーク論、地域ソーシャルワーク論、非営利組織論、地方自治論及び身体と心の科学演習Ⅰの7科目から2単位以上、社会福祉概説、教育学、発達心理学、認知発達論、地域福祉論、教育社会学、生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、比較家族論、子ども発達論、教育心理学及びジェンダーと社会の12科目から2単位以上並びに修得していない科目から12単位以上を修得し、必修12単位と合わせて合計24単位以上（スポーツ実技及び健康運動実技を含めることができる）を修得すること。

授 業 科 目	年次及び単位数					備 考
	1	2	3	4	計	
福祉心理教職関連科目	現代政治学			2		2
	経済学入門	2				2
	社会理論と社会システム	2				2
	国際経済学		4			4
	国際政治学		4			4
	憲法Ⅰ〔人権〕		4			4
	宗教学		2			2
	心理学理論と心理的支援	2				2
	障害児教育論			2		2
	知的障害者の心理		2			2
	知的障害者の病理保健			2		2
	肢体不自由者の心理		2			2
	肢体不自由者の病理保健			2		2
	病弱者の心理		2			2
	病弱者の病理保健			2		2
	知的障害教育方法論Ⅰ		2			2
	知的障害教育方法論Ⅱ		2			2
	肢体不自由教育方法論		2			2
	病弱教育方法論		2			2
	視覚障害教育論			2		2
	聴覚障害教育論			2		2
	重複障害・LD等教育論		2			2
	障害児教育実習			3		3

社会福祉学部福祉心理学科の卒業の認定を受けるために修得しなければならない124単位のうち、大学共通科目38単位及び専門教育科目66単位は、備考欄に定めるところに従い修得するものとし、その余の20単位は、履修していない大学共通科目、専門教育科目、社会福祉学部他学科専門教育科目、他学部他学科専門教育科目（別表第1のK表に定める授業科目）及び国際交流関係科目（別表第1のJ表に定める授業科目）から修得すること。ただし、他学部他学科専門教育科目及び国際交流関係科目を修得した場合、卒業に必要な単位数に算入できる限度は8単位とする。

社会教育主事の資格を取得しようとする者は、生涯学習概論、社会教育計画、社会教育方法論及び社会教育演習の4科目12単位を必修とし、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育及び高齢化と社会教育の3科目から2単位以上、職業指導、社会福祉調査論、コミュニティワーク論、地域ソーシャルワーク論、非営利組織論、地方自治論及び身体と心の科学演習Ⅰの7科目から2単位以上、社会福祉概説、教育学、発達心理学、認知発達論、地域福祉論、教育社会学、生涯スポーツⅠ、生涯スポーツⅡ、比較家族論、子ども発達論、教育心理学及びジェンダーと社会の12科目から2単位以上並びに修得していない科目から12単位以上を修得し、必修12単位と合わせて合計24単位以上（スポーツ実技及び健康運動実技を含めることができる）を修得すること。

J. 国際交流関連科目

授 業 科 目	年次及び単位数					備 考	
	1	2	3	4	計		
基礎日本語 A			3		3	交換留学生のみ履修することができる	
基礎日本語 B			3		3		
日本語 I A			12		12		
日本語 I B			12		12		
日本語 II A			12		12		
日本語 II B			12		12		
日本語 III A			12		12		
日本語 III B			12		12		
日本語 IV A			12		12		
日本語 IV B			12		12		
日本語 V A			12		12		
日本語 V B			12		12		
上級日本語 A			3		3		
上級日本語 B			3		3		
自由研究 A			3		3		
自由研究 B			3		3		
インターンシップ [国際]			3		3		
日本の文学 [国際]			3		3		
日本の歴史 [国際]			3		3		
日本の社会 [国際]			3		3		
日本の経済 [国際]			3		3		
日本の経営 [国際]			3		3		
日本の文化 [国際]			3		3		
国際経済 [国際]			3		3		
日欧 (経済) 関係 [国際]			3		3		
日米 (経済) 関係 [国際]			3		3		
比較文化 A [国際]			3		3		
比較文化 B [国際]			3		3		
マネジメント論 A [国際]			3		3		
マネジメント論 B [国際]			3		3		
メディア論 [国際]			3		3		
コミュニケーション論 [国際]			3		3		
日本社会における言語とジェンダー [国際]			3		3		
中国事情 [国際]			4		4		
国際交流特別講義 A			3		3		
国際交流特別講義 B			3		3		
国際交流特別講義 C			3		3		
国際交流特別講義 D			3		3		
国際交流特別講義 E			3		3		
国際交流特別講義 F			3		3		
国際交流特別講義 G			3		3		
国際交流特別講義 H			3		3		
日本語教授法 I		2			2		
日本語教授法 II		2			2		
日本語教授法 III			2		2		

K. 卒業要件に算入される他学部・他学科の専門教育科目

学科	卒業要件に算入される専門教育科目	
	授 業 科 目	備 考
英 文 学 科	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルタージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経済学科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	法情報学を除く授業科目	経済法学科
	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、国際比較福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会福祉発達史、社会福祉概説、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、地域福祉論、コミュニティワーク論、司法福祉論、社会福祉管理運営論、医療福祉論、介護概論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、職業指導	福祉計画学科
	障害学、社会福祉発達史、成人期福祉論、社会福祉概説、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、地域福祉論、コミュニティワーク論、医療福祉論、社会福祉管理運営論、司法福祉論、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科
心 理 ・ 応 用 コ ミュ ニ ケー ション 学 科	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英文学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経済学科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	法情報学を除く授業科目	経済法学科

学科	卒業要件に算入される専門教育科目	
	授 業 科 目	備 考
心理・応用コミュニケーション学科	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、社会調査法、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、国際比較福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会福祉発達史、社会福祉概説、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、地域福祉論、コミュニティワーク論、司法福祉論、社会福祉管理運営論、医療福祉論、介護概論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、職業指導	福祉計画学科
	障害学、社会福祉発達史、成人期福祉論、社会福祉概説、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、地域福祉論、コミュニティワーク論、医療福祉論、社会福祉管理運営論、司法福祉論、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科
経済学	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英 文 学 科
	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルターージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	法情報学を除く授業科目	経 済 法 学 科
	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、国際比較福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会福祉発達史、社会福祉概説、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、地域福祉論、コミュニティワーク論、司法福祉論、社会福祉管理運営論、医療福祉論、介護概論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、職業指導	福祉計画学科

学科	卒業要件に算入される専門教育科目	
	授 業 科 目	備 考
経 済 学 科	障害学、社会福祉発達史、成人期福祉論、社会福祉概説、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、地域福祉論、コミュニティワーク論、医療福祉論、社会福祉管理運営論、司法福祉論、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科
経 営 情 報 学 科	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英 文 学 科
	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルタージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経 済 学 科
	法情報学を除く授業科目	経 済 法 学 科
	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、国際比較福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会福祉発達史、社会福祉概説、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、地域福祉論、コミュニティワーク論、司法福祉論、社会福祉管理運営論、医療福祉論、介護概論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、職業指導	福祉計画学科
	障害学、社会福祉発達史、成人期福祉論、社会福祉概説、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、地域福祉論、コミュニティワーク論、医療福祉論、社会福祉管理運営論、司法福祉論、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科

学科	卒業要件に算入される専門教育科目	
	授 業 科 目	備 考
経 済 法 学 科	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英 文 学 科
	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルタージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経 済 学 科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、国際比較福祉論、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、社会福祉発達史、社会福祉概説、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、地域福祉論、コミュニティワーク論、司法福祉論、社会福祉管理運営論、医療福祉論、介護概論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、職業指導	福祉計画学科
	障害学、社会福祉発達史、成人期福祉論、社会福祉概説、ソーシャルワーク論Ⅰ、高齢者福祉論、介護概論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、地域福祉論、コミュニティワーク論、医療福祉論、社会福祉管理運営論、司法福祉論、福祉行財政と福祉計画、社会保障論Ⅰ、公的扶助論、労災と就労支援、権利擁護と成年後見制度、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科
福 祉 計 画 学 科	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英 文 学 科
	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルタージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経 済 学 科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	法情報学を除く授業科目	経 済 法 学 科

学科	卒業要件に算入される専門教育科目	
	授 業 科 目	備 考
福祉計画学科	子ども発達論、成人期発達論、高齢期発達論、障害学、ジェンダー・スタディーズ、成人期福祉論、障害行動論Ⅰ、障害行動論Ⅱ、施設ソーシャルワーク論、地域ソーシャルワーク論、子ども家庭ソーシャルワーク論、障害者ソーシャルワーク論、高齢者ソーシャルワーク論、保健医療ソーシャルワーク論、リハビリテーション論Ⅰ、リハビリテーション論Ⅱ、ケアマネジメント実践論、ケアマネジメント技術演習、療法論Ⅰ、療法論Ⅱ、精神疾患とその治療Ⅰ、精神疾患とその治療Ⅱ、精神保健の課題と支援Ⅰ、精神保健の課題と支援Ⅱ、スクールソーシャルワーク論、スクールソーシャルワーク演習、スクールソーシャルワーク実習指導、スクールソーシャルワーク実習、障害児教育論、知的障害者の病理保健、知的障害者の心理、肢体不自由者の病理保健、肢体不自由者の心理、病弱者の病理保健、病弱者の心理、知的障害教育方法論Ⅰ、知的障害教育方法論Ⅱ、肢体不自由教育方法論、病弱教育方法論、視覚障害教育論、聴覚障害教育論、重複障害・LD等教育論、障害児教育実習	福祉臨床学科
	自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学、障害児教育論、知的障害者の心理、知的障害者の病理保健、肢体不自由者の心理、肢体不自由者の病理保健、病弱者の心理、病弱者の病理保健、知的障害教育方法論Ⅰ、知的障害教育方法論Ⅱ、肢体不自由教育方法論、病弱教育方法論、視覚障害教育論、聴覚障害教育論、重複障害・LD等教育論、障害児教育実習	福祉心理学科
福祉臨床学科	イギリス文化概論、キリスト教と文学、アメリカ文化概論、英語学概論、英米史A、英米史B	英 文 学 科
	パーソナリティ心理学、認知心理学、マスコミュニケーション論、学習心理学、スポーツ心理学、心理言語学、学校心理学、クリティカルシンキング、マルチメディア論、空間コミュニケーション、消費者コミュニケーション、国際交流論、時事社会研究、ルポルタージュ論、映像表現論	心理・応用コミュニケーション学科
	入門演習、基礎経済学、新聞活用、基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、時事英語を除く授業科目	経 済 学 科
	情報処理、問題解決スキル、ビジネス・ケース、海外実習、ビジネス英語、基礎演習Ⅰ、基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱを除く授業科目	経営情報学科
	法情報学を除く授業科目	経 済 法 学 科
	ジェンダー論、比較家族論、福祉社会学、社会調査入門、社会調査法、福祉財政論、ケアマネジメント論、社会福祉調査方法論、コミュニティ論、非営利組織論、福祉計画特論、福祉国家論、福祉計画論Ⅰ、地方自治論、民法Ⅰ〔民法総則・物権〕、行政法Ⅰ〔行政法総論〕、医療経済学、社会教育計画、社会教育方法論、データ解析入門、社会保障法、労働法、租税法、社会福祉調査実習、海外の福祉制度、海外福祉計画実習、国際比較福祉論、生涯学習概論、青少年問題と社会教育、家庭教育と社会教育、高齢化と社会教育、社会教育演習、職業指導	福祉計画学科
自己心理学、心理統計法、学習心理学、パーソナリティ心理学、生理心理学、認知心理学、心理学特論、カウンセリング論、臨床心理学、犯罪心理学、健康心理学、グループダイナミクス、臨床社会心理学、社会心理学、文化心理学、臨床発達心理学、発達心理学、認知発達論、特別支援教育総論、福祉心理学	福祉心理学科	